



早稲田大学日本語教育学会 2022年春季大会

3月19日(土) 13:00-16:10 オンライン開催

開会式

13:00-13:10

ポスター発表

13:20-13:50

①日本語教師の実践コミュニティの変容
—対話に対する姿勢の変容から—

伊藤茉莉奈

(早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)

②案内・規制のためのサインのわかりやすい表現とは
—作り手としての市民への調査から—

高橋英一

(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)

③学習リソースとしての日本語で語られたストーリー
—初級の成人学習者の事例から—

本間淳子

(東洋大学人間科学総合研究所)

口頭発表Ⅰ

14:00-14:30

④大学院留学生の研究室コミュニティへの参加プロセスと「ことば」の学び
—自己エスノグラフィーを通して—

邊希眞

(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)

⑤ソーシャルネットワーキングサービスを用いた日本語教師間の学び合い
コミュニティの可能性と評価
—Facebookを利用した実践から—

李紀源

(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了生)

⑥慰めのコミュニケーションに対する認識の考察

紀潔

(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)

口頭発表Ⅱ

14:40-15:10

⑦留学生を支援する留学生スタッフの学び
—役割と参加の観点から—

七海美和子

(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了生)

⑧介護施設における連携・協働関係の構築を考える
—日本語教育の観点から—

渡辺和音

(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)

口頭発表Ⅲ

15:20-15:50

⑨ケースメソッド授業において内省は必要か
—経営学ケースメソッド実践者へのインタビューをもとに—

アドゥアヨム・アヘゴ 希佳子

(宝塚大学)

⑩日本語教育は難民申請者に対する日本語支援にどのように関われるか
—神奈川県鎌倉市の難民申請者支援施設を事例として—

大年萌音

(早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)

総会

16:00-16:10

【会場】Zoom (URLは3月16日(水)に参加申込者にメールにて送付)

【参加費】無料 (会員による事前申し込み制)

参加申込期間: 2022年2月18日(金) 9:00~3月6日(日) 23:55

※非会員の方は、必ず申込前に学会HP<<http://gsjal.jp/wnkg/invitation.html>>で会員資格を確認し、入会手続きを終えてから申し込んでください。

※予稿集は3月14日(月)以降、学会ホームページからダウンロード可能です。ダウンロード、または印刷の上、ご参加ください。



問い合わせ先

早稲田大学日本語教育学会事務局

メール: wnkg-jimukyoku@list.waseda.jp

参加申込用 QR コード